

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	地高ICアクセス 一般国道411号 和戸ICアクセス	事業区分	補助国道	事業主体	山梨県
起終点	自：山梨県甲府市和戸町 至：山梨県甲府市和戸町	延長	0.53 km		
事業概要	国道411号和戸ICアクセスは、新山梨環状道路北部区間の（仮称）和戸ICへのアクセス道路であり、新山梨環状道路と一体となって、甲府市街地における通過交通の分散化による渋滞解消や、甲府周辺地域の連携強化を目的とした延長約0.5 kmの道路事業である。				
H26年度事業化	H25年度都市計画決定	用地未着手	工事未着手		
全体事業費	約13.0億円	事業進捗率	約1%	供用済延長	— km
計画交通量	15,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.3 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/10億円 事業費：9.7/9.9億円 維持管理費：0.4/0.4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 34/34億円 走行時間短縮便益：20/20億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：2.3/2.3億円	基準年 平成28年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=2.9~3.6(交通量±10%) 事業費：B/C=3.0~3.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.0~3.6(事業期間±2年)				
事業の効果等	①広域ネットワークの形成 ・甲府市、笛吹市、山梨市などの主要拠点間を連絡する広域ネットワークを形成し、拠点間を連携・強化することで、地域活性化に寄与する。 ②主要渋滞箇所の渋滞緩和 ・現道の国道411号は甲府市と峡東地域（笛吹市・山梨市など）を結ぶ幹線道路であり、朝夕のピーク時には慢性的な交通渋滞が発生する主要渋滞箇所が存在する。 当該事業の整備により、交通量が分散され主要渋滞箇所での交通量が減少し、渋滞緩和が期待される。				
関係する地方公共団体等の意見	・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。 ・接続する新山梨環状道路北部区間は、沿線の関係市町や各種団体で組織する「新山梨環状道路北部区間建設推進連絡協議会」から早期完成を要望されている。				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成28年度に、接続する新山梨環状道路北部区間が事業化された。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約0%、事業進捗率約1%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地元や関係機関と協力しながら用地買収を積極的に進め、早期供用に努める。				
施設の構造や工法の変更等	施工方法等の見直しによる工事コストの縮減等を行い、コスト縮減に努めながら事業を推進する。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

